

## 令和7年度第1回いちのせき健康の森運営委員会 会議録

- 1 会議名 令和7年度第1回いちのせき健康の森運営委員会
- 2 開催日時 令和7年7月1日（火）午前10時から午前11時30分まで
- 3 開催場所 いちのせき健康の森 視聴覚室
- 4 出席者
  - (1) 委員 千葉正委員（委員長）、阿部眞委員（副委員長）、千葉真由美委員、平野和彦委員、嘉藤久美子委員、亀谷琢委員、長山弘美委員、佐々木承子委員  
※欠席者 菅原清忠委員、鈴木直子委員
  - (2) 事務局 小野寺和宏いきがづくり課長、千葉友理恵いきがづくり課主事、佐藤可安いちのせき健康の森所長、小國友也いちのせき健康の森副所長、千葉忍いちのせき健康の森総務管理課長、菅原寛いちのせき健康の森研修課長、菅原美智子いちのせき健康の森総務管理課員

### 5 議題

- (1) 令和6年度経過報告について
- (2) 令和7年度運営計画について
- (3) その他

### 6 公開、非公開の別 公開

### 7 傍聴者の数 なし

### 8 委員長・副委員長の選任

千葉正委員を委員長とし、阿部眞委員を副委員長とする案を事務局から提案し、了承された。

### 9 挨拶

#### (1) 小野寺和宏いきがづくり課長

本日はお忙しいところ、ご出席いただき感謝申し上げます。委嘱した皆さまには、今後2年間にわたり、施設運営に対しご助言とご指導を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

いちのせき健康の森は、栗駒山麓の豊かな自然環境を活かし、各種研修・創作活動・野外活動を通じて、利用者の健康維持・増進と生涯学習の促進を目的として設置された施設です。職員10名で運営管理をしており、本庁ではいきがづく

り課が所管として連携しながら施設の円滑な運営に取り組んでおります。

いちのせき健康の森は平成9年、併設の祭時スノーランドは平成6年に開設され、約30年が経過しております。その間、平成20年の岩手・宮城内陸地震による被災や、令和2年度の新型コロナウイルス感染症拡大による利用制限など、施設運営上、多くの困難に直面して参りました。また、近年では猛暑による熱中症対策や暖冬に伴う雪不足といった新たな課題にも、的確に対応していく必要があると認識しております。

本日は、令和6年度の実績と令和7年度の計画について説明いたします。特に昨年度の祭時スノーランドの入込客数についてですが、降雪に恵まれ、近隣スキー場の閉鎖も重なり、平成14年度以来の2万人を超える結果となりました。今後も利用者の皆さまに安心・安全に施設をご利用いただけるよう、職員一同引き続き努めて参ります。

委員の皆さまには、今後の円滑な事業推進のため、忌憚のないご意見・ご助言を頂戴したいと考えております。よろしくお願いいたします。

## (2) 佐藤可安いちのせき健康の森所長

本日は、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

いちのせき健康の森は平成9年に開設し、先月6月末時点で85万5918人の方々にご利用いただいております。これから忙しい時期を迎えるにあたり、熱中症対策や熊対策など、利用される皆さまの安全を第一に活動のサポートをして参りたいと思います。

また、近年学校の統合により小中学校の利用は減少傾向にありますが、子ども達には様々な自然体験で生きる力を身につける場として、全ての皆さまには心身両面にわたる健康作りの場としての環境を整えて参ります。

本日は皆さま方の様々なご意見を頂戴したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

## 10 審議事項

### (1) 令和6年度経過報告について

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 グラウンドにあったラグビーのゴールポールを撤去したことにより、グラウンドとしての使用目的が変わるのか。

事務局 ゴールポールを撤去したことにより、グラウンドの使用目的が変わることはないが、グラウンドの利用自体が少ないので、利用してもらえようテコ入れをしたい。

委員 リフト停止による救助者が1名ということだが、その時リフトには何名乗車していたのか。

事務局 20名乗車していた。

委員 救助ではなく自力でリフトから降車した人はいたのか。

事務局 いない。

委員 救助に関して、警察署や消防署に通報、要請はしたのか。

事務局 職員で対応したので、要請などはしていない。

委員 救助中にリフト運行が可能になり、救助者1名以外はリフト運行による降車のようなのだが、もしリフトが動かなかった場合、全員の救助に要する時間はどのくらいか。

事務局 1時間から1時間半位と思われる。

委員 索道の事故として届出はしたのか。

事務局 東北運輸局や索道協会に報告済みであり、東北運輸局からは重要事故には該当しないとの回答を受け指導はなかった。

委員 宿泊者数が減少傾向のようだが、それについての分析はしているか。

事務局 少子化による子どもの数の減少、学校の統合による学校数の減少が大きく影響していると思われる。また、近隣市町村に数年前に開設された研修施設を利用している学校もあるようなので、その影響もあると思われる。

委員 今、外国人観光客が多くなっており、その方々にも利用してもらおうとよいと思うのだが、そのためには移動手段としての送迎バスが必要であると考えられる。そのことについてどう考えているか。

事務局 バスの運行となると、運行体制の人員の確保も含め今現在難しい部分もあるので、岩手県交通など公共交通機関と連携したPRの仕方なども今後工夫していきたい。

委員 送迎バスについて、いろいろな団体やお客様に対応するためにもぜひ検討いただきたい。

委員 公共交通機関のバスの時刻に合わせた主催事業の企画を考えてみるのもよいと思う。

事務局 バスの確保について早急には難しい部分もあるので、既存のバスを活用したPRなど検討していきたい。

委員 イノシシや熊対策はどのように行っているのか。

事務局 叩いて音を出せるように鍋の蓋などを設置したり、山中での活動がある団体には、雷管やホイッスルなどを持参してもらったり、職員全員での見

回りなどを行っている。

委員 昨シーズン、朝スキー場に来た時、道路の除雪がされてないことがあったので、来シーズンはしっかりとやってもらいたい。

事務局 除雪が必要な積雪量の時は、委託業者に依頼しているが、早朝の作業に加え、降雪量が多いためすぐに積もるのが現状である。

(2) 令和7年度運営計画について

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 以前、問い合わせをしたときは子ども用のスノーシューは保有していないとのことだったが、今も変わりはないか。

事務局 5足ある。

事務局 小学生のリフト料金が無料のスキーこどもの日について、正月三が日、毎週日曜日、祝日に開催しているが、開催当日がとても混み合うので、日程変更も含めて委員の皆さまにご意見を伺いたい。

委員 毎週日曜日ではなく、半分は土曜日開催にしてみてもどうか。

委員 条例に関わってくるが、他のスキー場のように小学生のリフト料金を無料にすれば、あえてスキーこどもの日を設定しなくてもよいのではないか。

委員 秋ごろにスキー協会、まつるベスノーランドスキースクールなどとの懇談会があるので、そこでも話題にしてみようと思う。

事務局 こちらでも今後検討する。

11 担当課 いちのせき健康の森 総務管理課